

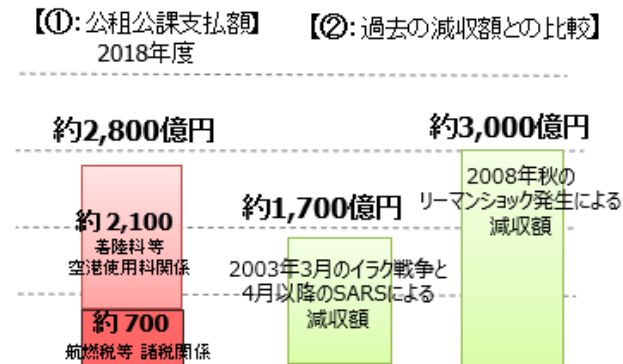
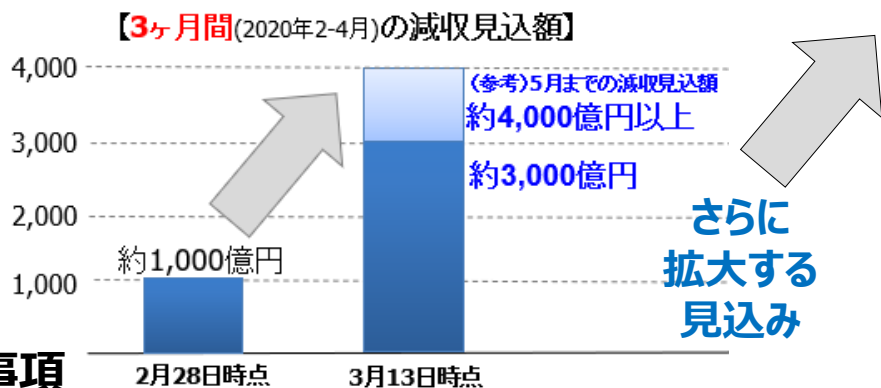
# 平子裕志氏提出資料

# 新型コロナウイルス感染拡大による航空業界からの要望

2020年3月23日  
定期航空協会

## 1. 本邦航空会社の現状

- 国際線・国内線ともに、旅客数が大幅に減少。旅客数が1桁台の便も散見されるほど危機的な状況。
- 需要の急減退に対応すべく、各社は運休・減便を実施しているが、旅客数の下落には歯止めがかからず減収見込額は大幅に拡大。
- 今後、3月以降の予約についても更に減少する見込みであり、過去に例のない未曾有の危機。



## 2. 要望事項

＜当面4カ月で、約4,000億円以上、年間では1兆円規模の減収＞

- ① 空港使用料等の支払い猶予、還付・減免  
・着陸料、停留料、航行援助施設利用料 等
- ② 各種税等の支払い猶予、還付・減免  
・航空機燃料税、航空機の固定資産税 等
- ③ 減収額が①、②を上回る場合の助成制度の創設等、さらなる支援
- ④ 会員社に対する経営環境を踏まえた政府保証（低利・無担保）付き融資
- ⑤ 雇用調整助成金の助成額の上限額・補助率の引上げ
- ⑥ 新型コロナウイルスの終息を見据えた、航空業界による大規模な需要喚起策等への助成

新型コロナウイルスが終息した際は、  
観光業界とも連携して、日本経済の活性化に貢献します。